

令和4年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
福祉教養科	福祉	社会福祉基礎	全	4	社会福祉基礎(実教出版)	社会福祉基礎学習ノート(実教出版) コミュニケーション技術と廊下・認知症・障害の理解(日本医療企画)
目標と評価規準		関心・意欲・態度	社会福祉の基本的な見方や考える力を身に付けることができる。			
		思考・判断・表現	社会構造の変容やライフスタイルの変化が社会福祉の進展にどのような影響を及ぼしているか考えられる。			
		技能	社会福祉に関する諸課題を主体的に解決し、社会福祉の向上を図る能力と態度を身に付けられる。			
		知識・理解	社会福祉に関する基礎的な知識を習得し、現代社会における社会福祉の意義や役割について理解できる。			
学期	月	単元	学習内容		到達度目標	
前期	4月	第1編 社会福祉の理念と意義	第1章 生活と福祉 ・少子高齢化と人口減少社会の到来 ・地域社会の変化 ・生活の変化 ・疾病構造の変化と国民の健康づくり ・人の一生と社会福祉		・少子高齢化と人口減少の中での社会福祉が担う役割について考察できる。 ・都市と地方の格差、地域社会の変化を理解し、育児・介護に対する社会的支援のあり方について考察できる。 ・国民の疾病構造の変化や保健医療施策について理解し、今後の国民の健康づくりのあり方を考察できる。 ・ライフサイクルの変化、多様化について理解できる。	
			第2章 社会福祉の理念 ・日本国憲法と社会福祉 ・現代の福祉理念 ・社会福祉をささえる諸原理 第3章 人間の尊厳と福祉社会の創造 ・人間としての尊厳 ・自立生活支援 ・福祉社会の創造		・日本国憲法の意義について理解し、これからの福祉国家・福祉社会の形成に向けて及ぼす影響を考察できる。 ・社会福祉を支える諸原理を理解し、利用者本位の支援のあり方を考察できる。 ・「人間の尊厳」という価値を理解し、福祉サービス利用者に対する自立支援のあり方を考察できる。 ・福祉社会の形成には、共生社会づくりが必要であることを理解し、行政やボランティア活動が果たすべき役割を考察できる。	
	5月	第2編 社会福祉の歴史と福祉社会の課題	第1章 諸外国における社会福祉 ・イギリスにおける社会福祉の発展 ・アメリカにおける社会福祉の発展 ・北ヨーロッパの社会福祉 ・ヨーロッパ大陸諸国の社会保障 ・アジアの少子高齢化と社会福祉の課題		・救貧から福祉までの歴史の変遷を理解し、担ってきた意義が考察できる。 ・ソーシャルワークの発展や社会保障法について理解し、担った意義が考察できる。 ・北欧諸国の福祉国家成立までの歩みについて理解できる。 ・社会保険制度の誕生等がわが国に及ぼした影響について考察できる。	
			第2章 日本における社会福祉 ・近代社会福祉の誕生・先覚者の活躍 ・「地域福祉」の始まり ・社会事業への着手 ・戦後の混乱期から福祉三法体制の確立へ ・高度経済成長時代と社会福祉六法 ・福祉改革とゴールドプラン ・少子化への対応・次世代の育成支援に向かって ・障害者福祉の新しい展開		・近代社会福祉における先覚者たちの取り組みが理解でき、それぞれが担った意義について考察できる。 ・地域福祉の取り組みが理解でき、現代にどのような影響を及ぼしているか考察できる。 ・福祉三法体制の成立過程を理解し、どのような方向付けが行われたのか考察できる。 ・社会福祉六法体制の成立過程、ゴールドプランの策定などについて理解し、今後の目指すべき社会福祉制度利用について考察できる。	
	6月	第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度	第1章 社会福祉・社会保障制度の意義と役割 ・社会保障制度の意義と役割 ・社会福祉と社会保障制度 ・社会福祉を推進する機関		・社会保障制度の意義、役割、範囲を理解し、社会保障給付の内訳に関する推移について考察できる。 ・地域社会の中で求められる社会福祉のあり方について考察できる。 ・わが国の行政体制に関して理解し、国民生活や地域社会にどう関わっているか考察できる。	
			第2章 子ども家庭福祉 ・少子化時代の子ども子育て支援 ・子育て支援と保育 ・障害のある子どもの福祉 ・子どものすこやかな成長への支援 ・市町村と児童相談所の役割 ・社会的養護と児童虐待への対応 ・子どもの貧困とひとり親家庭の福祉 ・子どもの権利と子ども家庭福祉		・児童福祉法について理解し、今後の子育て支援のあり方が考察できる。 ・障害のある子どもに対する支援体制について理解でき、課題にどう対処していくかを考察できる。 ・児童福祉に関する市町村と児童相談所における役割が理解でき、課題にどう対処していくべきかを考察できる。 ・子どもの貧困等実態を理解し、今後の対応について考察できる。	
			第3章 障害者福祉 ・障害者福祉とは ・身体障害者の現状と課題 ・身体障害者福祉の推進 ・障害者の生活支援		・ノーマライゼーション思想や自立生活運動を理解し、障害者福祉の意義について考察できる。 ・身体障害者の日常生活や社会生活の中で直面する課題について考察できる。 ・障害者総合支援法が定める目的、障害者福祉サービスの体系や利用の手続きについて理解できる。	
			知的障害者の現状と課題 ・知的障害者の在宅支援と施設の役割 ・障害者グループホーム ・発達障害をめぐる多様な課題と支援 ・精神保健と精神障害者 ・精神障害者の支援 ・障害者福祉の今後		・知的障害者の現状を理解し、今後のサービス提供の望ましいあり方が考察できる。 ・発達障害者に対する支援体制が理解できる。 ・精神障害者の社会参加の実現に向けた課題について考察できる。 ・障害者福祉のあり方について就労支援、スポーツ・文化活動から考察できる。	
	7月		第4章 高齢者福祉 ・人口の高齢化と高齢者福祉 ・高齢者の健康保持と社会参加 ・介護保険制度 ・高齢者の在宅サービス ・認知症ケア	・少子高齢社会について理解し、わが国が抱える問題、方向性が考察できる。 ・高齢者の健康保持に向けた施策について理解できる。 ・介護保険制度の概要が理解できる。 ・介護保険制度改正の趣旨が理解でき、課題が考察できる。		

前期	9月	第3編 生活を支える 社会福祉・社会保障 制度	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険施設 ・老人福祉施設その他 ・高齢者の地域生活を支える各種サービス ・高齢者福祉の将来 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険施設、老人福祉施設について理解でき、望ましいケアのあり方が考察できる。 ・様々な社会資源について理解できる。 ・地域包括ケアシステムのあり方が考察できる。
	10月	第5章 生活支援のための公的扶助	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護とは ・生活保護の種類と基準 ・生活保護の実施運営体制と最近の動向 ・生活資金の支援制度・ホームレスの自立支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護制度が理解でき、その意義が考察できる。 ・生活保護の動向について考察できる。 ・ホームレスの現状が理解でき、自立支援のあり方が考察できる。
第6章 国民生活を支える社会保障制度 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の社会保障制度の枠組み ・健康保険・国民健康保険 ・高齢者医療制度等 <ul style="list-style-type: none"> ・公的年金制度の体系 ・公的年金の給付 ・雇用保険と労災保険 			<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障制度の概要が理解でき、その意義が考察できる。 ・医療保険制度の概要が理解でき、その意義が考察できる。 ・高齢者医療制度や医療提供体制の仕組みが理解できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・公的年金制度の体系、公的年金の給付について理解できる。 ・雇用保険、失業等への対応、制度がもつ意義が考察できる。 	
後期	11月	第4編 人間関係とコミュニケーション	第1章 コミュニケーションの基礎 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの意義・役割 ・コミュニケーションの基礎的方法 第2章 援助における人間関係の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・傾聴・受容・共感の姿勢 ・利用者理解と援助者の自己理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション活動が本来もつ意義や役割について考察できる。 ・情報技術を利用したコミュニケーションについて理解し、それらもつ意義を考察できる。 ・傾聴、受容、共感の姿勢について理解し、意義が考察できる。 ・利用者理解と援助者の自己理解が、援助活動を進めて行く上でどのような意義をもつのか考察できる。
		第3章 社会福祉援助活動の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・個別援助技術の活用と福祉活動 ・集団援助技術の活用と福祉活動 ・地域援助技術の活用と福祉活動 ・社会福祉援助活動の発展 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別援助技術の原則、展開過程を理解し実際の援助活動の中での意義が考察できる。 ・集団援助技術の方法について理解し、実際にどのような形で展開できるか考察できる。 ・地域援助技術の原則、展開過程を理解し地域でどのように実践されているか考察できる。 ・専門職によるチームワーク、チームケアがどのような意義を持つか考察できる。 	
	12月	第5編 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度	第1章 地域福祉の進展と地域の将来 <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動とボランティア ・非営利民間福祉活動 ・福祉のまちづくりと地域社会の将来 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの定義について理解し、地域福祉活動の中での役割について考察できる。 ・特定非営利活動法人について理解でき、意義が考察できる。 ・バリアフリーを目指したまちづくりの価値について理解し、地域社会の将来像が考察できる。
		1月	第2章 多様な社会的支援制度 <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療 ・教育 ・雇用・就労支援 ・住宅・居住サポート ・司法と福祉の連携 ・権利擁護と成年後見制度 第3章 社会福祉の将来と福祉の担い手 <ul style="list-style-type: none"> ・新しい社会連帯と福祉の推進 ・利用者支援と消費者保護 ・多様なニーズを抱える人々への支援 ・福祉・介護人材の養成とキャリア形成 ・日本における社会福祉の役割と新しい方向 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療、特別支援教育について理解できる。 ・雇用形態の変化について理解でき、雇用支援や若者への自立支援のあり方が考察できる。 ・バリアフリー、ユニバーサルデザインの視点を重視した新しい住宅・居住サポートのあり方が考察できる。 ・司法と福祉の連携のあり方について考察できる。 ・相互扶助から社会連帯を基本とした新しい地域社会づくりのあり方が考察できる。 ・新たな時代に向け福祉社会をどのように構築していくか考察できる。
2月				

令和4年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
福祉教養科	福祉	介護福祉基礎	全	2	介護福祉基礎(実教出版)	なし
目標と評価規準		関心・意欲・態度	介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援など介護の意義と役割に関心をもつことができる。			
		思考・判断・表現	高齢者や障害者に関する具体的な事例から、課題やニーズについて考え、表現することができる。			
		技能	介護を適切に行う能力と態度を身に付けられる。			
		知識・理解	介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援など介護の意義と役割を理解できる。			
学期	月	単元	学習内容		到達度目標	
前期	4月	第2編 介護を必要とする人の理解と介護	第1章 高齢者の生活と介護 ・生活支援 ・生活を支える介護 ・介護過程		・加齢にともなう心身機能の変化には個人差があることを認識し、高齢者に対するより良い介護のあり方がわかる。 ・高齢期の基本的な生活支援の方法や技術について理解を深めることができる。	
	5月	第4編 介護福祉の担い手	第1章 介護従事者をとりまく状況 ・介護福祉士の養成 ・介護人材の確保と定着 ・介護従事者のキャリアアップ研修 ・介護従事者の社会的地位向上 第2章 介護従事者の役割 ・介護の役割、介護福祉士の役割 ・在宅・施設介護従事者の役割		・介護福祉士の取得方法や養成の現状について理解できる。 ・介護従事者がキャリアアップしていくための方策や自己研鑽の必要性について理解できる。 ・在宅・施設介護の特性を理解し、専門職者としての関わり方について考察できる。	
	6月	第1編 介護の意義と役割 第2編 介護を必要とする人の理解と介護	第1章 尊厳を支える介護 ・その人らしく・尊厳・基本的人権 ・高齢者の人格と尊厳 ・障害のある人の人格と尊厳 ・利用者本位の介護サービス 第2章 介護従事者の倫理 ・尊厳・プライバシー保護 ・専門性と基本姿勢 ・介護従事者として踏まえるべき倫理		・介護の定義や目的・原則を捉え、理解できる。 ・尊厳や、尊厳を守るために必要な考え方や態度について理解できる。 ・介護従事者として必要な倫理観と、態度について理解できる。	
	7月		第2章 障害者の生活と支援 ・障害とは ・障害者の生活と支援 ・精神保健福祉 ・地域生活移行 ・就労支援		・障害の範囲と程度を理解し、障害者の生活環境を把握することができる。 ・障害を持つ人を地域で支えるシステムについて理解し、地域で生活するための具体的な方法を理解できる。	
9月						
後期	10月	第6編 介護における安全確保と危機管理	第1章 介護における安全確保と事故対策 ・介護におけるリスクマネジメント ・事故予防対策 転倒・転落事故 ・身体拘束の禁止について ・防災対策 第2章 感染対策 ・感染症の理解 予防対策 ・介護現場で出会うことの多い感染症 第3章 介護従事者の健康管理 ・健康管理の重要性 ・心の健康管理 からだの健康管理 ・労働安全衛生に関する知識 ・家族介護者の健康		・福祉施設で想定されるリスクとマネジメントの方法を理解できる。 ・介護の現場で起こる事故の要因を考察し、事故の分析と対応、組織としての事故防止対策について考察できる。 ・感染経路、症状について理解し、感染対策について考察できる。 ・介護従事者の自己の健康管理の大切さを理解し、その方法を理解できる。	
	11月	第5編 介護福祉サービスの概要と連携	第1章 介護サービスの概要 ・介護サービスの利用方法 ・介護サービス提供の場の特性 ・居宅介護サービス ・施設サービス ・障害者支援サービス ・障害者支援サービスの実例		・介護保険制度のサービス利用までの流れ、ケアマネジメントについて理解できる。 ・各種の居宅介護サービスが理解できる。 ・施設サービスの役割や特徴が理解できる。	
	12月		第2章 介護における連携 ・多職種連携とチームケア ・介護と医療 ・介護支援専門員とケアチームの連携 ・介護従事者とボランティアとの連携		・障害者支援サービスの実例を、事例をとおし理解できる。 ・介護に関わる様々な職種について理解し、チームケアの目的と意義について考察できる。 ・介護支援専門員、ボランティアの役割が理解できる。	
	1月	第3編 介護を必要とする人の生活環境	第1章 介護と環境 ・生活環境を整えること ・高齢者の生活と住まい ・障害者と住まい ・福祉用具の活用		・バリアフリーやユニバーサルデザインが理解できる。 ・福祉用具の活用について理解でき、また、介護保険制度によって福祉用具が活用できるしくみについて理解できる。 ・自立や生活支援をICFの視点をもとに考察でき、事例をもとに、ICFの視点から生活支援の実例が理解できる。 ・自立支援のための具体的な方策について考察できる。	
	2月		第2章 自立に向けた介護 ・自立・生活支援 生活支援と介護 ・自立を支援する介護専門職 ・自立を支援する生活環境づくり			

令和4年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
福祉教養科	福祉	生活支援技術(講義)	全	2	生活支援技術(実教)	なし
目標と評価規準		関心・意欲・態度	・生活支援を要する人に関心を持ち、相手を尊重して意欲的に学習に取り組むことができる。			
		思考・判断・表現	・対象者に合った生活支援方法を考え、コミュニケーションをとりながら学習・実習に取り組むことができる。			
		技能	・生活支援に関する基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、実践できる。			
		知識・理解	・対象者に必要な生活支援に関する基礎・基本的な知識が理解できる。			
学期	月	単元	学習内容		到達度目標	
前期	4月	第1編 私たちの暮らしと生活支援	第1章 生活支援の理解 ・生活に視点を置く ・生活支援の考え方 ・他の職種の役割と協働		・生活・生活支援とは何かを理解し、生活を支えるために何が必要なのかを考えることができる。 ・生活支援が必要な人についてこころとからだから理解することができる。	
	5月	第2編 自立に向けた生活支援技術	第1章 居住環境の整備 ・生活支援における居住環境整備の意義・基本理念 ・安心して快適な生活の場づくり		・生活支援が必要な人の家事とその生活を理解することができる。 ・生活支援が必要な人の快適な居住環境と介護について理解することができる。	
	6月					
	7月		第9章 レクリエーションにおける介護 ・レクリエーションの意義と目的 ・レクリエーションにおける介護技術		・レクリエーションの意義と目的が理解できる。 ・レクリエーションにおける介護技術を理解し、行うことができる。 (福祉体験時におけるデイサービス利用者に対し、レクリエーション活動の意義を理解し、実施できる。)	
	9月		第2章 家事の介護 ・家事の支援の意義と目的 ・家事支援における介護技術		・家事手段を通して、利用者の個別性を考えた生活の維持・具体的な方法、家族支援、地域サービス等在宅支援がわかる。	
後期	10月	第1編 私たちの暮らしと生活支援	第2章 生活支援に向けたアセスメント ・生活支援におけるアセスメント ・ICFの視点とアセスメント		・アセスメントの意義、役割について理解することができる。 ・利用者やその家族が抱えるニーズの把握にむけた関わり方を考えることができる。 ・ICFを活用したアセスメント方法を理解することができる。	
	11月				・事例を通して、介護過程が展開することができる。 ・介護過程の情報収集、アセスメント、問題に対する計画、実施、評価の一連の過程がわかる。	
	12月					
	1月	学習のまとめ	・授業の振り返り		・学習内容をまとめ、プレゼンテーションができる。	
	2月	学習のまとめ(プレゼンテーション)				

令和4年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
福祉教養科	福祉	生活支援技術(実技)	全	2	生活支援技術(実教)	なし
目標と評価規準		関心・意欲・態度	・生活支援を要する人に関心を持ち、相手を尊重して意欲的に実習に取り組むことができる。			
		思考・判断・表現	・対象者に合った生活支援方法を考え、コミュニケーションをとりながら学習・実習に取り組むことができる。			
		技能	・生活支援に関する基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、実践できる。			
		知識・理解	・対象者に必要な生活支援に関する基礎・基本的な知識が理解できる。			
学期	月	単元	学習内容		到達度目標	
前期	4月	生活支援技術の学び方(オリエンテーション)	・基本的介護技術 ・日常生活の理解 ・環境の整え方(ベッドメイキング)		・介護者としての自覚を持って実習ができる。 ・高齢者や障害者の生活の理解ができる。 ・利用者の安全性を考えたベッドメイキングができる。	
	5月	第2編 自立に向けた生活支援技術(実習)	第1章 居住環境の整備 ・生活に視点を置く ・生活支援の考え方(介護の基本的な考え方、介護におけるコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション)		・介護の理念や法的根拠、介護を行う上での視点について理解できる。 ・対象者や様々な場面において必要なコミュニケーションを行うことができる。 (バイタルサイン・観察・記録)	
	6月		第3章 身じたくの介護 ・身じたくの意義と目的 ・身じたくにおける介護技術		・身じたくの介護に関する意義・目的を理解し、身じたくの介護に関する基本的な知識と技術が習得できる。 (寝衣交換、口腔ケア)	
	7月		第4章 移動の介護 ・移動の意義と目的 ・移動・移乗における介護技術		・移動・移乗の介護に関する意義・目的を理解し、移動・移乗の介護に関する基本的な知識と技術が習得できる。(体位変換、車椅子、杖)	
	9月					
後期	10月		第5章 食事の介護 ・食事の意義と目的 ・食事における介護技術		・食事の意義・目的を理解し、食事の介護に関する基本的な知識と技術が習得できる。 (食事介助)	
			第6章 入浴・清潔保持の介護 ・生活を支える入浴・清潔保持の介護 ・入浴・清潔保持における介護技術		・入浴・清潔保持の介護に関する意義・目的を理解し、入浴・清潔保持の介護に関する基本的な知識と技術が習得できる。 (足浴・洗髪・全身清拭)	
	11月		第7章 排せつの介護 ・自立生活を支える排せつ介護 ・排せつにおける介護技術		・排泄の意義・目的を理解し、排泄の介護に関する基本的な知識と技術が習得できる。 (尿便器の排泄、おむつ交換)	
	12月		第8章 睡眠の介護 ・睡眠の意義と目的 ・睡眠における介護技術		・睡眠の意義・目的を理解し、睡眠の介護に関する基本的な知識と技術が習得できる。 (寝室環境・シーツ交換)	
			第3編 終末期・緊急時の介護 第1章 終末期の介護 ・終末期ケアの意義と介護の役割 ・終末期における介護技術 第2章 緊急時の介護 ・緊急時における対応 ・災害時における安全対策		・終末期、緊急時における介護の意義・目的を理解する。 ・終末期・緊急時の介護に関する基本的な知識が習得できる。	
	1月	総合生活支援技術演習	・総合生活支援技術演習		・具体的な各事例から、個性を考えた自立に向けて必要な介護ができる。	
	2月	学習のまとめ	・授業の振り返り		・学習内容をまとめ、プレゼンテーションができる。	

令和4年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
福祉教養科	福祉	介護総合演習	3・4年	2		介護・福祉サービスの理解(日本医療企画)
目標と評価規準		関心・意欲・態度	福祉の見方、考え方を働かせ、自ら課題を見つけ、解決策を探究することができる。			
		思考・判断・表現	地域福祉や福祉社会に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。			
		技能	地域福祉や福祉社会に関する課題の解決に主体的かつ協動的に取り組むことができる。			
		知識・理解	介護保険のしくみを理解し、要介護者に適したケアプランを作成することができる。			
学期	月	単元	学習内容		到達度目標	
前期	4月	第3章 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	第1節 介護保険制度 ・介護保険制度創設の背景と目的 ・介護保険制度の動向 ・介護保険制度のしくみ		・介護保険制度の意義とその概要が理解できる。 ・高齢者の自立を支えるしくみやサービスがどのように創り上げられているのか理解できる。 ・行政の役割、実際のサービス内容や利用の流れが理解できる。	
	5月	【課題研究】 ・研究及び調査の手法	・テーマの設定方法 ・計画の作成方法 ・調査方法 ・アンケートの実施及び活用方法 ・研究テーマの設定		・研究の手順や手法を理解できる。 ・書籍等を各種情報を活用した調査方法を理解することができる。 ・アンケートを作成し、Excelを活用したグラフ化や考察することができる。 ・意欲的に取り組める課題を見つけることができる。	
	6月	第2章 介護の基本 【福祉体験事前指導】 ・レクリエーション指導	第3節 介護職における安全の確保とリスクマネジメント ・介護労働における安全の確保 ・事故予防 ・安全対策 ・感染対策 ・オリエンテーション、記録		・介護職として安全を確保するための事故の備え、環境整備などのリスクマネジメントの考え方、方法を理解し、実践できる。	
	7月	第2章 介護の基本 【福祉体験事前指導】 ・福祉体験について	第3節 介護職における安全の確保とリスクマネジメント ・介護労働における安全の確保 ・事故予防 ・安全対策 ・感染対策 ・オリエンテーション、記録		・介護職として安全を確保するための事故の備え、環境整備などのリスクマネジメントの考え方、方法を理解し、実践できる。 ・福祉体験について、理解し体験・行動することができる。	
	9月	【課題研究】 ・年間学習計画作成	・年間計画作成		・研究目標を的確に把握し、年間計画が作成できる。	
後期	10月	【課題研究】 ・研究実践	・資料収集 ・実態調査 ・研究実践		・研究内容に沿った資料を様々な方法で収集できる。 ・目的を理解し、的確な方法で実態調査ができる。 ・目的意識を持ち、意欲的に研究活動を実践することができる。	
	11月	【課題研究】 ・研究のまとめ方・まとめ	・発表資料の作成 ・PowerPointの活用 ・Wordの活用		・プレゼンテーションソフト及び文書作成ソフトの活用方法を理解し、研究内容を適切にまとめることができる。	
	12月	第3章 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	第2節 介護と医療の連携 ・介護における医療と福祉の連携 ・介護職と医行為 ・リハビリテーション		・医療と福祉との連携と、それぞれのサービスや連携のあり方が理解できる。 ・介護職が行うことが出来る医療的ケアの理解が理解できる。 ・リハビリテーションの役割や専門職について理解できる。	
	1月	【課題研究】 ・研究発表	・発表資料作成 ・校内発表会 ・報告書作成		・収集した資料を基に結果を考察することができる。 ・結果を分析し、分かりやすくまとめることができる。 ・効果的なプレゼンテーションができる。 ・決められた様式で、成果をまとめることができる。 ・これまでの研究を振り返り、適切な自己評価ができる。	
	2月	介護総合演習のまとめ	・介護保険や課題研究の振り返り		・今までの学習から、住み慣れた地域や自宅で自立した生活を継続できるための環境・制度・システム作りを考え、まとめることができる。	

令和4年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目(講座名)	対象学年	単位数	教科書	使用教材
福祉教養科	福祉	こころとからだの理解	全	4	こころとからだの理解 (実教出版)	なし
目標と評価規準		関心・意欲・態度	・自分自身の心身のしくみについて興味関心をもち、取り組むことができる。			
		思考・判断・表現	・健康と心身の変化がどのように影響しているか考えることができる。			
		技能	・心身の健康の維持・向上を図る能力と態度を身に付けることができる。			
		知識・理解	・心身の健康に関する基礎・基本的な知識の習得ができる。			
学期	月	単元	学習内容		到達度目標	
前期	4月	第1編 こころとからだの基礎的理解	第1章 こころのしくみの理解 ・私たちの生活と健康 ・人間の欲求の基本的理解 ・自己概念と尊厳 ・意欲・動機づけのしくみ ・思考・感情のしくみ ・記憶・学習のしくみ ・適応のしくみ		・健康の定義を理解し、自己の健康観を考えることができる。 ・心の働きや仕組み等心理学的な側面から心身の理解ができる。	
	5月		第2章 からだのしくみの理解 ・生命維持・恒常性のしくみ ・脳・神経系のしくみ ・運動器系のしくみ ・循環器系のしくみ ・消化器系のしくみ ・呼吸器系のしくみ ・感覚器系のしくみ ・内分泌系のしくみ ・泌尿器系のしくみ ・生殖器系のしくみ ・血液・免疫系のしくみ		・こころ・からだの解剖や生理機能、働きのメカニズムが理解できる。	
	6月					
	7月	第3編 人間の成長と発達の基礎的理解	第1章 発達とは ・発達と老化の理解 ・人間の発達と発達課題 第2章 老年期の理解と日常生活 ・老年期の発達と成熟 ・加齢に伴う心身の変化の特徴 ・加齢に伴う心身の変化と日常生活への影響 ・高齢者の心理 第3章 高齢者と健康 ・高齢者の疾病と生活上の留意点 ・保健・医療職との連携		・老化に伴う心と体の変化が理解できる。	
	9月	第2編 生活支援に必要なこころとからだのしくみの理解	第1章 生活動作に関するこころとからだのしくみ ・身じたくに関するこころとからだのしくみ ・移動に関するこころとからだのしくみ ・食事に関するこころとからだのしくみ ・入浴・清潔に関するこころとからだのしくみ		・身じたく、移動に伴うこころとからだのしくみを理解し、自立に向けた介護のポイントがわかる。 ・食事、入浴・清潔に伴うこころとからだのしくみを理解し、自立に向けた介護のポイントがわかる。	

後期	10月	第4編 認知症の理解	<p>第1章 認知症をとりまく環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症介護の歴史と理念 ・認知症高齢者の現状と今後 ・認知症に関する行政の方針と施策 <p>第2章 認知症の基礎的理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症による症状 ・認知症の診断 ・認知症の主な病気の特徴 ・若年性認知症 ・認知症の薬物療法 <p>第3章 認知症に伴う心身の変化と日常生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人の特徴的な行動・心理 ・認知症に伴う機能の変化と日常生活への影響 <p>第4章 認知症と地域サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域におけるサポート体制 ・家族への支援 	・認知症の医学的側面、生活、心理・行動の特徴、関わり支援の基礎的な理解ができる。
	11月			
	12月	第2編 生活支援に必要なところとからだのしくみの理解	<p>第1章 生活動作に関するところとからだのしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排せつに関するところとからだのしくみ ・睡眠に関するところとからだのしくみ 	・排せつ、睡眠に伴うところとからだのしくみを理解し、自立に向けた介護のポイントがわかる。
		第5編 障害の理解	<p>第1章 障害の基礎的理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害の概念 ・障害者福祉の基本理念 <p>第2章 生活機能障害の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体障害、精神障害、知的障害、発達障害、高次脳機能障害、難病 <p>第3章 障害に伴う心身の変化と日常生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人の心理 ・障害に伴う機能の変化と日常生活への影響 <p>第4章 障害と地域生活支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域におけるサポート体制 ・家族への支援 	・障害の医学的側面、生活、心理・行動の特徴、関わり支援の基礎的な理解ができる。
	1月	第2編 生活支援に必要なところとからだのしくみの理解	<p>第2章 生活に関するところとからだの特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症に関するところとからだのしくみ ・終末期に関するところとからだのしくみ ・緊急時に関するところとからだのしくみ 	・死に関するひとのころとからだの変化を理解し、終末期に向けた介護、家族の支援のポイントがわかる。
	2月			